KU EXPRESS
関西大学 プレスリリース

KANSAI UNIVERSITY

研究活動、経済効果　2026 年 11 月 16 日／No.41

■ 宮本勝浩 関西大学名誉教授が推定 ■

2027 年巨人が松井秀喜監督のもとで優勝した時の経済効果は、約 841 億 518 万円

このたび関西大学 宮本勝浩名誉教授が、松井新監督のもとで 2027 年に巨人が優勝した時の経済効果を推計したところ、約 841 億 518 万円となりました。

宮本名誉教授は、**「2027 年のシーズンにおいて、巨人が松井新監督のもとで優勝した時の経済効果は、全国で約 841 億 518 万円になると推定される。これは非常に大きな経済効果である。また、巨人と阪神の優勝による経済効果は、常に球界のトップを争う規模を誇り、日本経済に大きな貢献をしていることがわかる。2027 年は世界から紛争や侵略がなくなり、世界中の人々が平和のもとで純粋にスポーツを楽しめる年になって欲しいと願っている」**と述べています。

分析結果について、別紙資料にて紹介いたします。

【資料概要】

1　テーマ　　2027 年巨人が松井秀喜監督のもとで優勝した時の経済効果

2　発表者　　関西大学名誉教授　宮本 勝浩

3　発表日　　2026 年 11 月 16 日（月）

4　内　容　　Ⅰ．はじめに

Ⅱ．経済効果とは

Ⅲ．松井監督のもとでの優勝の経済効果

Ⅳ．松井監督のもとでの優勝の直接効果の項目

Ⅴ．直接効果の各項目の推定金額

Ⅵ．経済効果

Ⅶ．まとめ

以　上

※推計方法および分析結果の無断転載・無断転用の防止のため、ウェブサイトには詳細資料を掲載しておりません。報道機関でご入用の方は、関西大学広報課（kouhou@ml.kandai.jp）まで資料　　請求くださいますようお願いいたします。
※分析結果からデータなどを引用される場合は、その旨付記してください。※本発表は報道資料として発表しております。資料提供元との取り決め等により、報道機関以外の方への資料提供は行っておりませんので、ご了承くださいますようお願いいたします。

この件に関するお問い合わせ先

関西大学　総合企画室 広報課　　担当：小林、伊地知
〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35　Tel.06-6368-0007　Fax.06-6368-1266
www.kansai-u.ac.jp

■ プロフィール ＜宮本　勝浩（みやもと　かつひろ）＞

【生年月日】　1945（昭和 20）年 1 月 12 日　（81 歳）　　【本　　籍】　和歌山県
【学　　歴】　大阪大学　大学院経済学研究科修士課程修了　経済学博士（神戸大学）
【職　　歴】　大阪府立大学経済学部教授、経済学部長、副学長歴任後、2006 年 4 月より関西大学大学院会計研究科教授。2015 年 3 月に定年退職し、現在は関西大学名誉教授。
この間、アメリカ合衆国インディアナ大学、ハーバード大学、上海同済大学、南京理工大学、ロシア極東国立商科大学などの客員研究員や客員教授を歴任
【専門分野】　国際経済学（移行経済論）、理論経済学、経済効果分析
【著　　書】　『大阪経済学』（共著）経営書院、『移行経済の理論』中央経済社、
『経済効果ってなんだろう？』中央経済社、『プラス思考の経済効果』清文社　など
【公　　職】　（元）財務省財政制度等審議会臨時委員、（元）総務省情報通信行政・郵政行政審議会委員、
（元）大阪広域水道企業団経営・事業評価委員会委員長、
公益財団法人大阪府市町村振興協会理事、公益信託泉州地域振興基金運営委員会委員長　など
【賞　　罰】　2019 年度和歌山県文化功労賞受賞、2021 年度和歌山市文化賞受賞、2024 年瑞宝小綬章受賞。
【業　　績】　以　上

2005 年　「阪神優勝の経済効果」、「セパ交流戦の経済効果」等を発表
2006 年　「2008 年大阪サミット誘致の経済効果」、「ディープインパクトの経済効果」等を発表
2007 年　「世界陸上・大阪大会の経済効果」、「シャープの堺市への液晶工場進出の経済効果」等を発表
2008 年　「くいだおれ人形の経済波及効果」、「三毛猫『たま駅長』の経済波及効果」等を発表
2009 年　「WBC の経済波及効果」、「タバコ値上げの経済効果」、「奈良県桜井市の邪馬台国遺跡発見の経済波及効果」等を発表
2010 年　「奈良の大仏の建造費用」、「大阪マラソンの経済波及効果」、「USJ10 周年の経済波及効果」等を発表
2011 年　「上野動物園のパンダ リーリーとシンシンの経済効果」、「東京ディズニーシー開園 10 周年の経済効果」等を発表
2012 年　「大阪マラソンの経済波及効果の検証」、「USJ今後 10 年間の経済波及効果予測」等を発表
2013 年　「あべのハルカス グランドオープンの経済波及効果」、「『街コン』の経済波及効果」、「東北楽天ゴールデンイーグルス優勝の経済波及効果」等を発表
2014 年　「田中将大投手のヤンキース入団の経済波及効果」、「大阪道頓堀のグリコの新電光看板の経済波及効果」等を発表
2015 年　「紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会の経済波及効果」、「又吉直樹氏の『火花』の経済効果」等を発表
2016 年　「ネコノミクスの経済効果」、「四国八十八ヶ所お遍路さんの経済効果」、「平成 28 年夏の甲子園全国高校野球の経済効果」、「SMAP 解散で失われる経済効果」、「2016 年広島東洋カープ優勝の経済効果」等を発表
2017 年　「2017 年 WBC 優勝の経済効果」、「第 89 回春の選抜高等学校野球大会の経済効果」、「上野動物園パンダの赤ちゃん誕生の経済効果」、「2017 年広島カープ優勝の経済効果」等を発表
2018 年　「せんとくんの経済効果」、「日本のお花見の経済効果」、「広島カープ優勝の経済効果」等を発表
2019 年　「GW10 連休の経済効果」、「埋蔵携帯の総価値額_2019 年版」、「インフルエンザによるマイナスの経済効果」等を発表
2020 年　「新型コロナの影響により失われるお花見の経済効果」、「祇園祭山鉾巡行中止による経済的損失」、「請求書の電子化による経済効果」、「東京五輪の中止・延期・簡素化による経済的損失」等を発表
2021 年　「エンゼルス・大谷翔平選手の経済効果」、「埋蔵携帯の価値 2021」、「東京オリンピック・パラリンピックの経済効果と赤字額」、「オリックス優勝による経済効果」、「日本ハムファイターズ・新庄監督の経済効果」、「大谷翔平選手 MVP の経済効果」等を発表
2022 年　「恵方巻きをはじめとする『節分の寿司』の経済効果と損失額」、「2022 年お花見の経済効果」、「2022 年祇園祭の経済効果」、「日本経済活性化のカギ～働く世代のビジョンの明確化」、「2022 年の大谷翔平選手の経済効果」、「2022 年度の市民マラソンの経済効果」、「2022 年『ぎふ信長まつり』の経済効果の検証」、「日本ハムファイターズ新球場の経済効果」、「2023 年初詣の経済効果」等を発表
2023 年　「バレンタインのチョコレートの経済効果」、「2023WBC 優勝の経済効果」、「2023 年のお花見の経済効果」、「G7 広島サミット 2023 の経済効果」、「2023 年祇園祭の経済効果」、「藤井聡太棋士が八冠を獲得した時の経済効果」、「女性の IT 人材増加による経済効果」、「埋蔵携帯の価値 2022」、「2023 年花火大会の経済効果」、「阪神タイガース 2023 年『アレ』の経済効果」、「山本由伸選手の大リーグ入団の経済効果」、「ドジャース移籍による 2024 年の大谷翔平選手の経済効果」等を発表
2024 年　「2024 年の恵方巻き等の経済効果と食品ロス」、「2024 年のネコノミクス」、「2024 年お花見の経済効果」、「2024 年ドジャースにおける大谷選手の経済効果」、「2024 年祇園祭の経済効果」、「社会現象としての 2024 年の大谷選手の経済効果」、「ふるさと納税の経済効果」、「曲がり角にきた市民マラソン大会の経済効果」、「2025 年初詣の経済効果」、「2025 年バレンタインチョコの経済効果」、「2025 年のネコノミクス」、「2025 年お花見の経済効果」等を発表
2025 年　「白浜アドベンチャーワールドのパンダの経済効果」、「2025 年阪神タイガース優勝の経済効果」、「ふるさと納税の経済効果」、「2025 年の大谷選手の経済効果」、「2025 年プレーオフ後のドジャースの日本人 3 選手（大谷、山本、佐々木）の経済効果」、「2025 年クリスマスケーキの経済効果と廃棄によるマイナスの経済効果」、「日本からパンダがいなくなることにより失われる経済効果（速報版）」等を発表
2026 年　「2026 年恵方巻の経済効果」、「2026 年のネコノミクス」、「2026 年のお花見の経済効果」、「2026 年 GW の国内観光旅行の経済効果」、「『飛鳥・藤原の宮都』世界遺産登録の経済効果」、「2026 年祇園祭の経済効果」、「2026 年夏休み国内旅行の経済効果」、「2026 年阪神タイガース優勝の経済効果」、「2025年度ふるさと納税の経済効果」等を発表　以上